

インテル® VTune™ Amplifier XE 2011 Windows* 版リリースノート

インストール・ガイドおよびリリースノート

資料番号:323401-001JA

2010年12月9日

目次

[概要](#)

[新機能](#)

[システム要件](#)

[テクニカルサポート](#)

[インストールに関する注意事項](#)

[問題と制限事項](#)

[権利の帰属](#)

[著作権と商標について](#)

1 概要

インテル® VTune™ Amplifier XE 2011 は、GUI を備えた統合パフォーマンス分析とチューニング環境を提供し、IA-32 およびインテル® 64 アーキテクチャーのシステムで、コードのパフォーマンス分析を支援します。

このドキュメントでは、動作環境、インストール方法、既存の問題と制限事項、著作権と商標について説明します。

インテル® VTune™ Amplifier XE 2011 はスタンドアロンの GUI とコマンドライン・インターフェイス (CLI) を備えています。

製品の詳細情報:

- [スタート] メニューの [Intel® VTune™ Amplifier XE 2011 (インテル® VTune™ Amplifier XE 2011)] にあるドキュメント項目からドキュメント、ヘルプ、サンプルを参照してください。

2 新機能

インテル® VTune™ Amplifier XE 2011 Update1:

- CSV ファイル形式へのデータのエクスポート
- ソース/アセンブリーの切り替えボタン
- 複数の不具合の修正

3 システム要件

アーキテクチャー名についての説明は、<http://software.intel.com/en-us/articles/intel-architecture-platform-terminology/> (英語) を参照してください。

プロセッサの必要条件

- ユーザー・インターフェイスによる一般的な操作と、ハードウェア・イベント・ベース・サンプリングの分析を除くすべてのデータ収集の場合
 - インテル® ストリーミング SIMD 拡張命令 2 (インテル® SSE2) 対応の IA-32 またはインテル® 64 アーキテクチャー・プロセッサを搭載したコンピューター (インテル® Pentium® 4 プロセッサ以降、または互換性のあるインテル以外のプロセッサ)
 - 機能を最大限に活用できるように、マルチコアまたはマルチプロセッサ・システムの使用を推奨します。
 - インテル® VTune™ Amplifier XE はアセンブリー・レベル命令の特別な情報を必要とするため、プログラムにインテル以外のプロセッサの命令が含まれていると、正確に分析が行われないことがあります。この場合、インテル® プロセッサの命令のみが含まれる対象実行ファイル进行分析してください。インテル® VTune™ Amplifier XE の使用後、アセンブラー・コード、またはインテル以外の命令を提供する最適化コンパイラ・オプションを使用できます。
- ハードウェア・イベント・ベース・サンプリングの分析 (EBS) の場合
 - EBS 分析ではチップのパフォーマンス・モニタリング・ユニット (PMU) を利用するため、純正のインテル® プロセッサが必要です。EBS 分析は、インテル® Pentium® M、インテル® Core™ マイクロアーキテクチャー、および新しいプロセッサでサポートされています (以下のリストを参照)。
 - EBS 分析はインテル® Pentium 4 プロセッサ・ファミリー (Intel NetBurst® マイクロアーキテクチャー) とインテル以外のプロセッサではサポートされていません。
 - ただし、EBS で収集された結果は、一般操作の必須要件を満たすシステムで分析することができます。
 - EBS 分析ではオンチップ PMU へアクセスするため、非仮想マシンが必要です。仮想マシン環境ではサポートされていません。
- サポートされるプロセッサのリストは、定期的に拡張されています。以下に、EBS 分析が有効なプロセッサのリストを示します (一部)。

モバイル・プロセッサ

インテル® Core™ i7 モバイル・プロセッサ エクストリーム・エディション
インテル® Core™ i7、i5、i3 モバイル・プロセッサ
インテル® Core™2 Extreme モバイル・プロセッサ
インテル® Core™2 Quad モバイル・プロセッサ
インテル® Core™2 Duo モバイル・プロセッサ
インテル® Core™ Duo プロセッサ
インテル® Core™ Solo プロセッサ
インテル® Pentium® モバイル・プロセッサ

デスクトップ・プロセッサ

インテル® Core™ i7 デスクトップ・プロセッサ エクストリーム・エディション
インテル® Core™ i7、i5、i3 デスクトップ・プロセッサ
インテル® Core™2 Quad デスクトップ・プロセッサ
インテル® Core™2 Extreme デスクトップ・プロセッサ
インテル® Core™2 Duo デスクトップ・プロセッサ

サーバーおよびワークステーション・プロセッサ

インテル® Xeon® プロセッサ 65xx/75xx 番台
インテル® Xeon® プロセッサ 36xx/56xx 番台
インテル® Xeon® プロセッサ 35xx/55xx 番台
インテル® Xeon® プロセッサ 34xx 番台
クアッドコア インテル® Xeon® プロセッサ 7xxx、5xxx、3xxx 番台
デュアルコア インテル® Xeon® プロセッサ 7xxx、5xxx、3xxx 番台

RAM

- 2 GB RAM (最小)

ディスク空き容量

- 650 MB のディスク空き容量 (すべての機能およびすべてのアーキテクチャー)

ソフトウェア要件

- サポートしているオペレーティング・システム:
 - Microsoft* Windows* XP SP2 および SP3
 - Microsoft* Windows* XP Professional x64 Edition SP1、SP2
 - Microsoft* Windows Vista* (Ultimate)
 - Microsoft* Windows* 7
 - Microsoft* Windows Server* 2003
 - Microsoft* Windows Server* 2008
 - Embedded Edition は未サポート
- インテル® VTune™ Amplifier XE は次のシステムでテストされました。
 - Microsoft* Windows XP* Service Pack 2、3
 - Microsoft* Windows Vista* (Ultimate) Service Pack 1、2

- Microsoft* Windows Server* 2003 Service Pack 1、2
- Microsoft* Windows Server* 2003 R2、Service Pack 2
- Microsoft* Windows Server* 2008、Service Pack 2
- Microsoft* Windows Server* 2008 R2
- Microsoft* Windows* 7
- サポートしているコンパイラー:
 - インテル® C/C++ コンパイラー 11 またはそれ以降
 - インテル® Fortran コンパイラー 11 またはそれ以降
 - インテル® Parallel Composer
 - Microsoft* Visual Studio* C/C++ コンパイラー
- サポートしている Microsoft* Visual Studio* のバージョン:
 - Microsoft* Visual Studio* 2005
 - Microsoft* Visual Studio* 2008
 - Microsoft* Visual Studio* 2010
- アプリケーションのコーディング要件
 - サポートしているプログラミング言語:
 - Fortran
 - C
 - C++
 - C# (.NET 3.5 およびそれ以前のバージョンのみサポート)
 - サポートしているスレッド化手法:
 - インテル® スレッディング・ビルディング・ブロック
 - Win32* スレッド (Windows*)
 - OpenMP*
 - インテルの C/C++ 並列言語拡張
- (インストールされたドキュメントを表示するための) Adobe* Reader* 7.0 またはそれ以降

4 テクニカルサポート

インストール時に製品の登録を行わなかった場合は、[インテル® ソフトウェア開発製品レジストレーション・センター](#)で登録してください。登録を行うことで、サポートサービス期間中 (通常は 1 年間)、製品アップデートと新しいバージョンの入手を含む無償テクニカルサポートが提供されます。

テクニカルサポート、製品のアップデート、ユーザーフォーラム、FAQ、ヒント、およびその他のサポート情報は、<http://www.intel.com/software/products/support/> (英語) を参照してください。

注: 代理店がテクニカルサポートを提供している場合は、インテルではなく代理店にお問い合わせください。

5 インストールに関する注意事項

初めて製品をインストールする場合は、インストール中にシリアル番号の入力が求められますので、あらかじめご用意ください。製品のインストールと使用には、有効なライセンスが必要です。

インテル® VTune™ Amplifier XE をインストールすると、以前のバージョンは削除されます。

本製品は、IA-32 パッケージを含む自己解凍ファイルで、32 ビット/64 ビット・システムにインストールできます。

インストールを開始するには、管理者権限を持つユーザーで VTune_Amplifier_XE_2011_update1_setup.exe ファイルをダブルクリックします。これで、フルパッケージ (インテル® VTune™ Amplifier XE の GUI および Microsoft* Visual Studio* 統合を含む) がインストールされます。アクティベーションが必要です。

リモートシステムへのコレクターのインストール

コマンドラインによるデータ収集機能をリモートシステムにインストールして、オーバーヘッドを減らし、簡単にリモートでデータを収集することができます。リモートシステムでのデータ収集にはライセンスは必要ありませんが、ライセンスがない場合は、データをリモートシステム上で表示することができません。

この場合、データの分析、表示、レポートを行うには、リモートシステムで収集された出力結果を、通常のインストールが行われたシステムへコピーしなければなりません。

リモートシステムへのインストール手順は、次のとおりです。

1. 次のコマンドを使用して、製品の Web イメージを手動で展開します。

```
VTune_Amplifier_XE_2011_update1_setup.exe --extract-only --  
extract-folder C:\temp\AmplXE_update1_unpacked
```

--extract-folder オプションには適切なパスを指定します。

--extract-folder オプションを省略した場合のデフォルトの展開先は %TEMP%\web_image_name-date_time になります。

例: C:\temp\Amplifier_XE_2011_update1_setup-2010-12-01_16-15-14

2. コレクターおよびコマンドライン・ツールのインストール・ファイルが含まれるフォルダーをリモートシステムへコピーします。上記の例では、
C:\temp\AmplXE_update1_unpacked\installs\ps_he_cli.* になります。
3. 管理者権限で Amplifier_XE.msi を実行し、手順に従います。アクティベーションは必要ありません。

4. 64 ビット・リモートマシンでは、インテル® VTune™ Amplifier XE のインストール場所から msvcrx86.msi と msvcrx64.msi を実行し、インストールします (管理者権限が必要です)。
5. 32 ビット・リモートマシンでは、インテル® VTune™ Amplifier XE のインストール場所から msvcrx86.msi を実行し、インストールします (管理者権限が必要です)。

デフォルトのインストール先フォルダー

この製品のデフォルトのインストール先フォルダーは以下のとおりです。

- C:\Program Files\Intel\VTune Amplifier XE 2011\

英語以外の Windows* システムにインストールする場合、Program Files フォルダー名が異なる場合があります。インテル® 64 アーキテクチャー・システムでは、フォルダー名は Program Files (X86) またはそれに相当する名前です。

本製品は、次のようなフォルダー構成でインストールされます。インストールによっては、一部含まれないフォルダーもあります。

- C:\Program Files\Intel\Amplifier XE 2011\
 - bin32
 - bin64*
 - config
 - documentation
 - include
 - lib32
 - lib64*
 - message
 - resources
 - sepdk
 - samples

(* bin64 と lib64 は、インテル® 64 アーキテクチャー用のインストール・パッケージ)

購入後に評価版をアクティベートする方法

インテル® ソフトウェア開発製品の評価版のユーザーは、製品を購入してシリアル番号を入手したら、新しいツールを使用して評価版から製品版へ移行することができます。この新しい“アクティベーション・ツール”で有効なシリアル番号を入力し、製品版の状態に移行します。

[スタート] - [すべてのプログラム] - [Intel Parallel Studio XE 2011 (インテル(R) Parallel Studio XE 2011)] - [Product Activation (製品のアクティベーション)] をクリックして、有効な製品のシリアル番号を入力した後、**[Activate (アクティベート)]** をクリックします。これで、評価版から製品版へ移行されます。

製品の変更、更新、削除

コンポーネントを追加する場合は、[コントロールパネル]の[プログラムの追加と削除]または[プログラムと機能]で[Intel® VTune™ Amplifier XE 2011 (インテル® VTune™ Amplifier XE 2011)]を選択して、[変更]をクリックします。製品を削除する場合は、[変更]の代わりに[削除]を選択してください。

製品のアップデート・バージョンをインストールする際、古いバージョンを最初にアンインストールする必要はありません。インストール時に以前のバージョンが自動的に削除されます。

注: 通常のアインストールで、SEP ドライバーのアインストールに失敗した場合、コマンドプロンプトを開いて、管理者権限で次のコマンドを実行し、SEP ドライバーを手動で削除してください。

```
cd %windir%\system32\drivers
dir sep*.sys
net stop sep3_1      # カーネルから SEP3 ドライバーをアンロード
del sep3_1.sys      # ファイルシステムから SEP3 ドライバーを削除
net stop sepdal     # カーネルから PAX ドライバーをアンロード
del sepdal.sys      # ファイルシステムから PAX ドライバーを削除
```

6 問題と制限事項

既存の問題と制限事項

- **出力結果をフィルターすると、GUI が反応しなくなることがある (200052892)**
 - 大きな出力結果のフィルター時に、フィルターの選択を変更すると、処理に時間がかかることがあります。これにより、GUI がハングアップする場合があります。
- **実行時間が 1 命令スライド (横に移動) する (200108041)**
 - 時間を消費しているターゲットの実行領域のデータを収集するために、インテル® VTune™ Amplifier XE はターゲットスレッドの実行に割り込み、時間をコンテキスト IP アドレスとして捉えます。
 - 収集メカニズムにより、キャプチャーされた IP アドレスは、実際に多くの時間を消費した命令の後に発生した命令を指します。これにより、アセンブリー・ビューの実行時間分布が 1 命令スライド (横に移動) してしまいます。まれに、これは、ソースで誤った実行時間の帰属も引き起こすことがあります。つまり、時間が、実際の hotspot 行の後のソース行を誤って指すことがあります。
- **TerminateProcess() で終了したプロセスの結果が収集されない (200108689)**
 - プロファイルされたプロセスで、TerminateProcess() を呼び出した別のプロセスにより終了されたプロセスは結果が表示されません。プロセスを終了するには別の方法を使用してください。

- **再ファイナライズされた hotspot 分析結果に <unknown> 項目が含まれることがある (200109010)**
 - 収集時に使用されたものとは異なるアクティブなビルド構成、またはターゲット構成による C++ プロジェクトの再ファイナライズ結果に正しくない関数/ソース名が含まれることがあります。この問題を解決するには、収集時と同じアクティブなビルド構成およびターゲット構成を使用して結果を再ファイナライズしてください。
- **現在、インテル® VTune™ Amplifier XE は複数のスタートアップ・プロジェクトが含まれるソリューションを未サポート (200007728)**
 - 1つのソリューションに複数のスタートアップ・プロジェクトが含まれる場合、インテル® VTune™ Amplifier XE は [Profile (プロファイル)] ボタンが押されたとき、起動するプロジェクトをランダムに選択します。これを回避するには、1つのソリューションに対し、起動するプロジェクトを1つ再設定してください。
- **アタッチ/デタッチのコレクターコマンドを数回行うと、アプリケーションの終了でハングアップすることがある (200088045)**
 - アタッチ/デタッチのコレクターコマンドを数回行うと、アプリケーションの終了でハングアップすることがあります。コレクターのアタッチ/デタッチ操作は、複数回繰り返さないでください。
- **深いスリープ状態が有効な場合、SEP により特定の NHM システムがクラッシュする (200149603)**
 - C-ステートが有効なインテル® Core™ i7 プロセッサ・ベースのシステムで、既知のハードウェアの問題により (<http://download.intel.com/design/processor/specupdt/320836.pdf> のエラッタ AAJ134 を参照)、サンプリングでシステムがハングアップすることがあります。これを回避するには、インテル® VTune™ Amplifier XE でサンプリングする前に “Cn(ACPI Cn) report to OS” BIOS オプションを無効にしてください。
- **「Instruction Set Reference (命令セット・リファレンス)」ガイドへのリンク: 「Instruction Set Reference (命令セット・リファレンス)」ドキュメントで適切な命令の説明箇所が表示されない (200091200)**
 - アセンブリ命令のリファレンス情報は、あらゆる PDF ビューアで表示することができますが、ドキュメント内の適切なページを表示するには、Adobe® Reader® が必要です。この機能を正しく動作させるには、Adobe® Reader® をインストールすることを推奨します。
- **アンインストールの制限事項: pin.exe がデタッチ後も実行したままになる (200092295)**
 - インテル® VTune™ Amplifier XE は、プロファイルするターゲットにアタッチした後、そのターゲットの実行が終わるまでアンインストールはできません。これは、pin.exe がターゲットからデタッチした後も動作し続け、プロファイル対象のアプリケーション/プロセスの実行が完了した後にのみ終了するためです。

- **スレッド・スタック・サイズの制限事項 (200152816)**
 - 次のようなエラーメッセージが表示されて、インテル® VTune™ Amplifier XE がクラッシュすることがあります。Error: failed to create a sampling thread: not enough storage is available to process this command. (エラー: サンプリング・スレッドの作成に失敗しました: このコマンドを処理するのに十分な容量がありません。)これは、プロファイルするアプリケーションに予約/コミットした大きなスレッド・スタック・サイズがあると発生します (/STACK:reserve[,commit] link.exe のコマンドライン・スイッチ)。回避策としては、予約/コミットしたスレッド・スタック・サイズを減らすことです。
- **同一のアプリケーションに 2 回アタッチしても、エラーもなく、終了しないが、データは保存されない (200092650)**
 - インテル® VTune™ Amplifier XE では 1 つめのアタッチが処理中でも分析を実行できますが、2 つめの分析実行ではデータが保存されません。
- **低すぎる "Sampling After Value (サンプリング間隔の値)" をイベントに指定すると、収集時にイベントのトリガーが頻繁に起こるため、システムがハングアップすることがある (200093394)**
 - 毎秒約 1000 イベントをトリガーするような適切な "Sampling After Value (サンプリング間隔の値)" を使用してください。これでデータ分析には十分です。より詳細なサンプリング結果の分析には、システムのレスポンスの低下を確認しながら、この値を少しずつ減らしてください。
- **[Hotspots] または [Locks and Waits] の分析で適切な CRT ライブラリーが見つからない場合、.Net アプリケーションがクラッシュすることがある (200095743)**
 - 次の CRT ライブラリーがインストールされていることを確認します。
 - Microsoft* Visual C++* 2005 (8.0) SP1 再頒布可能パッケージ ATL Update 8.0.50727.4053 - Microsoft* Visual Studio* 8.0 による混合モードのアプリケーション・ビルド用、または Microsoft* .NET Framework 3.5.30729.1 より以前のバージョンによるピュアなマネージド・アプリケーション・ビルド用
 - Microsoft* Visual C++* 2008 (9.0) SP1 再頒布可能パッケージ ATL Update 9.0.30729.4148 - Microsoft* Visual Studio* 8.0 による混合モードのアプリケーション・ビルド用、または Microsoft* .NET Framework 3.5.30729.1 から 4.0 によるピュアなマネージド・アプリケーション・ビルド用
 - Microsoft* Visual C++* 2010 (10.0) SP1 再頒布可能パッケージ 10.0.21003.1 - Microsoft* Visual Studio* 10.0 による混合モードのアプリケーション・ビルド用、または Microsoft* .NET Framework 4.0 によるピュアなマネージド・アプリケーション・ビルド用
- **インテル® VTune™ Amplifier XE を英数字以外の文字が含まれるディレクトリーにインストールすると、収集された結果が表示されない (200185779)**
 - 英語以外の言語が含まれるシステムに製品をインストールする場合、ディレクトリーのパスには英数字のみを使用するようにしてください。

- **出力結果のディレクトリー・パスに英数字以外の文字が含まれていると、イベント・ベース・サンプリング収集が開始されない (200185851)**
 - 英語以外の言語が含まれるシステムに製品をインストールする場合、出力結果のディレクトリーのパスには英数字のみを使用するようにしてください。
- **特定のバージョンのインテル® コンパイラーでコンパイルされた、OpenMP* が有効なバイナリーの分析でインテル® VTune™ Amplifier XE がクラッシュすることがある (200199671)**
 - Windows* 7 64 ビット・システム上で、インテル® コンパイラー 12.0 (Composer XE 2011 Update1 を含む) によりコンパイルされた、OpenMP* が有効な 32 ビット・バイナリーの分析中に [Hotspot]、[Concurrency]、または [Lock&Waits] がクラッシュすることがあります。また、32 ビットのインテル® IPP やインテル® MKL ライブラリーを使用して、インテル® コンパイラー 12.0 で再コンパイルされたアプリケーションも影響を受けます。

7 権利の帰属

Boost Software License - Version 1.0 - August 17th, 2003

Permission is hereby granted, free of charge, to any person or organization obtaining a copy of the software and accompanying documentation covered by this license (the "Software") to use, reproduce, display, distribute, execute, and transmit the Software, and to prepare derivative works of the Software, and to permit third-parties to whom the Software is furnished to do so, all subject to the following:

The copyright notices in the Software and this entire statement, including the above license grant, this restriction and the following disclaimer, must be included in all copies of the Software, in whole or in part, and all derivative works of the Software, unless such copies or derivative works are solely in the form of machine-executable object code generated by a source language processor.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, TITLE AND NON-INFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDERS OR ANYONE DISTRIBUTING THE SOFTWARE BE LIABLE FOR ANY DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Libxml2

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c,list.c and the trio files, which are covered by a similar license but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

Libunwind

Copyright (c) 2002 Hewlett-Packard Co.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except where otherwise noted in the source code (e.g. the files hash.c, list.c and the trio files, which are covered by a similar licence but with different Copyright notices) all the files are:

Copyright (C) 1998-2003 Daniel Veillard. All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal

in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE DANIEL VEILLARD BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of Daniel Veillard shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from him.

PYTHON SOFTWARE FOUNDATION LICENSE VERSION 2

1. This LICENSE AGREEMENT is between the Python Software Foundation ("PSF"), and the Individual or Organization ("Licensee") accessing and otherwise using this software ("Python") in source or binary form and its associated documentation.
2. Subject to the terms and conditions of this License Agreement, PSF hereby grants Licensee a nonexclusive, royalty-free, world-wide license to reproduce, analyze, test, perform and/or display publicly, prepare derivative works, distribute, and otherwise use Python alone or in any derivative version, provided, however, that PSF's License Agreement and PSF's notice of copyright, i.e., "Copyright (c) 2001, 2002, 2003, 2004, 2005, 2006, 2007, 2008 Python Software Foundation; All Rights Reserved" are retained in Python alone or in any derivative version prepared by Licensee.
3. In the event Licensee prepares a derivative work that is based on or incorporates Python or any part thereof, and wants to make the derivative work available to others as provided herein, then Licensee hereby agrees to include in any such work a brief summary of the changes made to Python.
4. PSF is making Python available to Licensee on an "AS IS" basis. PSF MAKES NO REPRESENTATIONS OR WARRANTIES, EXPRESS OR IMPLIED. BY WAY OF EXAMPLE, BUT NOT LIMITATION, PSF MAKES NO AND DISCLAIMS ANY REPRESENTATION OR WARRANTY OF MERCHANTABILITY OR FITNESS FOR ANY PARTICULAR PURPOSE OR THAT THE USE OF PYTHON WILL NOT INFRINGE ANY THIRD PARTY RIGHTS.
5. PSF SHALL NOT BE LIABLE TO LICENSEE OR ANY OTHER USERS OF PYTHON FOR ANY INCIDENTAL, SPECIAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES OR LOSS AS

A RESULT OF MODIFYING, DISTRIBUTING, OR OTHERWISE USING PYTHON,
OR ANY DERIVATIVE THEREOF, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY THEREOF.

6. This License Agreement will automatically terminate upon a material breach of its terms and conditions.

7. Nothing in this License Agreement shall be deemed to create any relationship of agency, partnership, or joint venture between PSF and Licensee. This License Agreement does not grant permission to use PSF trademarks or trade name in a trademark sense to endorse or promote products or services of Licensee, or any third party.

8. By copying, installing or otherwise using Python, Licensee agrees to be bound by the terms and conditions of this License Agreement.

Changes to standard library modules:

=====

A brief summary of changes made to Python 2.5.2 source:

- On Windows*, the code of import, zipimport, and execfile was modified to handle directories containing Unicode characters.

wxWidgets Library

This product includes wxWindows software which can be downloaded from www.wxwidgets.org/downloads.

wxWindows Library Licence, Version 3.1

=====

Copyright (C) 1998-2005 Julian Smart, Robert Roebeling et al

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this licence document, but changing it is not allowed.

WXWINDOWS LIBRARY LICENCE
TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

This library is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU Library General Public Licence as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the Licence, or (at your option) any later version.

This library is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU Library General Public Licence for more details.

You should have received a copy of the GNU Library General Public Licence along with this software, usually in a file named COPYING.LIB. If not, write to the Free Software Foundation, Inc., 59 Temple Place, Suite 330,

Boston, MA 02111-1307 USA.

EXCEPTION NOTICE

1. As a special exception, the copyright holders of this library give permission for additional uses of the text contained in this release of the library as licenced under the wxWindows Library Licence, applying either version 3.1 of the Licence, or (at your option) any later version of the Licence as published by the copyright holders of version 3.1 of the Licence document.

2. The exception is that you may use, copy, link, modify and distribute under your own terms, binary object code versions of works based on the Library.

3. If you copy code from files distributed under the terms of the GNU General Public Licence or the GNU Library General Public Licence into a copy of this library, as this licence permits, the exception does not apply to the code that you add in this way. To avoid misleading anyone as to the status of such modified files, you must delete this exception notice from such code and/or adjust the licensing conditions notice accordingly.

4. If you write modifications of your own for this library, it is your choice whether to permit this exception to apply to your modifications. If you do not wish that, you must delete the exception notice from such code and/or adjust the licensing conditions notice accordingly.

/* zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library
version 1.2.3, July 18th, 2005

Copyright (C) 1995-2005 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly jloup@gzip.org
Mark Adler madler@alummi.caltech.edu

*/

8 著作権と商標について

本資料に掲載されている情報は、インテル製品の概要説明を目的としたものです。本資料は、明示されているか否かにかかわらず、また禁反言によるとよらずにかかわらず、いかなる知的財産権のライセンスを許諾するものではありません。製品に付属の売買契約書『Intel's Terms and Conditions of Sale』に規定されている場合を除き、インテルはいかなる責任を負うものではなく、またインテル製品の販売や使用に関する明示または黙示の保証(特定目的への適合性、商適格性、あらゆる特許権、著作権、その他知的財産権の非侵害性への保証を含む)に関してもいかなる責任も負いません。

インテルによる書面での合意がない限り、インテル製品は、その欠陥や故障によって人身事故が発生するようなアプリケーションでの使用を想定した設計は行われていません。

インテル製品は、予告なく仕様や説明が変更されることがあります。機能または命令の一覧で「留保」または「未定義」と記されているものがありますが、その「機能が存在しない」あるいは「性質が留保付である」という状態を設計の前提にしないでください。これらの項目は、インテルが将来のために留保しているものです。インテルが将来これらの項目を定義したことにより、衝突が生じたり互換性が失われたりしても、インテルは一切責任を負いません。この情報は予告なく変更されることがあります。この情報だけに基づいて設計を最終的なものとししないでください。

本書で説明されている製品には、エラッタと呼ばれる設計上の不具合が含まれている可能性があります。公表されている仕様とは異なる動作をする場合があります。現在確認済みのエラッタについては、インテルまでお問い合わせください。

最新の仕様をご希望の場合や製品をご注文の場合は、お近くのインテルの営業所または販売代理店にお問い合わせください。

本書で紹介されている注文番号付きのドキュメントや、インテルのその他の資料を入手するには、1-800-548-4725 (アメリカ合衆国) までご連絡いただくか、インテルの Web サイト <http://www.intel.co.jp/> を参照してください。

インテル・プロセッサ・ナンバーはパフォーマンスの指標ではありません。プロセッサ・ナンバーは同一プロセッサ・ファミリー内の製品の機能を区別します。異なるプロセッサ・ファミリー間の機能の区別には用いません。詳細については、http://www.intel.co.jp/jp/products/processor_number/ を参照してください。

この文書には開発の設計段階の製品に関する情報が記述されています。

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Intel NetBurst、Pentium、VTune、Xeon は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標または登録商標です。

* その他の社名、製品名などは、一般に各社の表示、商標または登録商標です。

Microsoft、Visual Studio、Windows、Windows ロゴは、米国 Microsoft Corporation および / またはその関連会社の商標です。

Java およびすべての Java 関連の商標およびロゴは、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems, Inc. の商標または登録商標です。

© 2010 Intel Corporation. 無断での引用、転載を禁じます。